



行谷小学校 学校だより

トキが飛び交う佐渡の空

トキっ子

第1号[4月号]



平成30年4月20日発行

元気が一番！

校長 笠井 猛雄

1学期の始業式。次のような話をしました。



いよいよ、今日から、新しい学年で学校が始まりました。今、みなさんの心の中は、「担任の先生は誰かな?」「新しい学年でどんなことをがんばろうかな?」など、ワクワクした気持ちでいっぱいだと思います。

さて、ここで、校長先生からクイズを出します。「元気が出るクイズ」です。

【問題】 出しても出しても減らないで、出せば出すほど、どんどん出てきて増えていくものって、何でしょう?

まわりの人と相談してもいいので、考えてみてください。

子どもたちから「水」や「海」などという回答がありました。理由がはっきりしていたので、すべて正解としました。

それでは、校長先生の答えを発表します。正解は、「元気」です。元気は、出しても出しても減りません。元気を出せば出すほど、ますます元気が湧いてきます。

例えば、朝、「おはよう!」と、明るく元気よくあいさつをすると、今日も1日がんばろうという気持ちになって元気が出ます。できなかったことができるようになった時には、「よし、もっとがんばろう」と元気が出ます。勉強で分からなかったことが分かった時にも、うれしくて元気が出ます。

それから、元気は友達からもらうこともあります。野球やサッカーの試合に出て、友達に応援してもらった時、友達にやさしい言葉をかけてもらった時、困っている時に、友達から助けてもらった時にも、元気が出ます。さらに、明るいあいさつをすると、あいさつをされた方も明るい気持ちになって元気になります。みなさんには、自分が元気になるだけでなく、まわりの人たちに元気を与えられる人になってほしいと思います。

元気が一番! 「元気が出る学校」をみなさんと一緒に創っていきたいと思います。

予測不可能なこれからの社会の中、一人一人が幸福な人生を切り拓いていくためには、主体的に学習に取り組む意欲や態度(学びに向かう力)はもとより、自己の感情や行動を統制する力、よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度等が必要です。このような人間の内面的な力を「元気」という言葉で表現し、子どもたちに話をしました。

ご家庭におかれましても、お子さんが毎日元気いっぱい活動できますよう、お子さんの健康状態に留意していただきたいと思います。健康三原則「休養(睡眠)・栄養(食事)・運動」を大切にして、元気の「注入」と「充電」をよろしく願います。

平成30年度がスタートしました。

みんなで力を合わせて、「元気が出る学校」を創っていきましょう!